

## お知らせ

当院当科では、「乳癌・甲状腺癌における細胞内シグナル伝達活性化の臨床的意義に関する検討」を進めるために臨床研究を行います。対象となる患者様は、2008年1月以前に乳癌・甲状腺癌の手術を当院当科で受けられた方で、患者様から取り出された腫瘍組織を研究に使用することはすでに同意を頂いている方です。

乳癌は比較的予後良好な腫瘍ですが、ホルモン受容体や増殖因子受容体HER2の発現のみられないトリプルネガティブサブタイプでは、ホルモン療法や抗HER2抗体療法が無効であり、予後が不良です。また、甲状腺分化癌は予後が良好ですが、低分化癌や未分化癌はその逆で、あらゆる癌の中で最も急速な進行を起こし、患者を死に至らしめます。乳癌のトリプルネガティブサブタイプや甲状腺低分化癌・未分化癌において、Src family kinaseを代表とする細胞内シグナル伝達の活性化が基礎的に示唆されており、これらのシグナル伝達を阻害する薬剤の有用性が基礎・臨床研究により検討されています。そこで我々は、過去に当教室で手術を受け、臨床病理学的情報がそろった乳癌・甲状腺癌の標本を用い免疫組織化学的方法でSrc family kinaseを代表とする細胞内シグナル伝達の活性化を系統的に検討し、治療抵抗性や予後不良と関連した細胞内シグナル伝達を同定したいと考えています。これらの研究は、難治性乳癌・甲状腺癌に対する新しい治療法の開発に役立つと思われます。本研究は、2010年7月に終了する予定です。

この研究の結果は、学会演題や学術論文として発表される予定です。しかし、どのような場合でも患者様のお名前や個人情報公表されることはなく、当院外に漏れることもありません。

本研究の対象となる患者様は、前回の同意を撤回、拒否することができます。この研究に関して、何か不明な点などありましたら、下記の連絡先までご相談下さい。

連絡先：

（病院名）川崎医科大学附属病院

（所在地）〒701-0192 岡山県倉敷市松島 577

（病院電話番号）086-462-1111

（分担医師）川崎医科大学乳腺甲状腺外科 准教授 紅林 淳一

（責任医師）川崎医科大学乳腺甲状腺外科 教授 園尾 博司